

はちのへ大型公共施設見える化シート（案）の概要

1. 作成目的

当市では、「八戸市公共施設マネジメントの推進に係る基本方針」を策定し、当方針に基づき、公共施設等の適切な管理を推進しており、その推進に当たっては、市民の理解が不可欠であるため、主要な大型公共施設に係る維持管理コスト等の情報について、分かりやすい形で「見える化」することとしている。

「見える化」の取組は、各施設への市民の理解をより深めていただく観点から、施設ごとに有する特性を含め様々な角度からの情報をわかりやすく伝えることで、市の公共施設マネジメントに係る市民の理解を得ることに加え、各施設における便益とコストのバランス等への関心を高めるとともに、市職員の公共施設に対するコスト意識の向上につながるものが期待されることから、主要な大型公共施設について、施設の基本的な情報や管理運営に要した費用、利用状況などに加え、地域の活性化等に向けた各施設の取組状況など、施設ごとの特性を総合的な視点で把握いただき、今後の施設の有効利用につなげていくもの。

2. 対象施設

見える化シートの対象施設については、原則として、市の直営施設であり相当数の利用者に利用されている公共施設から、次の10施設を選定。

- ①八戸市庁、②八戸ブックセンター、③八戸市美術館、④八戸ポータルミュージアム（はっち）、
- ⑤八戸まちなか広場（マチニワ）、⑥八戸長根屋内スケート場、⑦八戸市総合保健センター、
- ⑧八戸埋蔵文化財センター是川縄文館、⑨八戸市立図書館、⑩八戸市博物館

※指定管理者制度を導入している施設については、管理状況を検証するモニタリング結果として、毎年度、収支状況や利用状況を公表していることから対象外としている。

3. 見える化シートの項目

- (1) 基本情報
- (2) 管理・運営の概要
- (3) 施設運営費の状況
- (4) 取組の状況

【参考】令和3年度施設運営費の状況のまとめ

4. 今後のスケジュール

- 12月21日 行政改革委員会から意見聴取
- 1月上旬 意見を踏まえた内容反映等
- 1月20日 総務協議会へ報告、公表（市HP）